

## 西城陶芸倶楽部作品展

10月23日(金)から11月5日(木)までの2週間、陶芸の作品展が催されました。コロナ禍の中で町美展も中止され、発表する場がないという事は実に寂しいことで、皆さんに観ていただければ次ががんばろうとする意欲につながるという倶楽部の方々の思いから作品展に至りました。特に今年は、偶然から今までにない色を出すことになり、驚きと共に是非皆さんにもご覧いただきたいという倶楽部の皆さんの思いは強かったようです。しばし、心安らぐ一時をいただきました。ありがとうございました。



\*西城自治振興区から、生涯学習へ参加されている団体などの皆様へ。作品を発表したいというご要望があれば展示物の大きさとか量にもよりますが、できるだけ展示をできるように考えています。

## 健康寿命向上セミナー

～わしでもできる うちでもできる～ (第2回西城会場 10月23日開催)

今年度も「健康寿命向上セミナー」として3つのテーマで「元気で過ごすためのコツ」をお伝えします。第2回目は、認知症介護予防教室として27名の方が参加され、始めにシルバーリハビリ体操を指導する曾利雪子さん、小谷勝行さんにより、体をほぐす・転倒予防の体操をしました。次に、聖仁会認知症介護アドバイザー 坂村寿恵氏、歯科衛生士 年盛満恵氏を講師に招いて、規則的な生活・ストレスをためない・身体を動かす習慣・バランスのとれた栄養摂取・楽しいこと新しいことに挑戦・歯の磨き方・歯の治療・歯周病予防など。認知症になっても暮らしていけるよう、みんなで準備しましょう。と講義をしていただきました。



## しめ縄作り教室

初心者大歓迎！ 自作のしめ縄飾りでお正月を迎えては！

日時：12月10日(木) 13:00～16:00  
場所：西城自治振興センター研修室  
参加費：400円(しめ縄1個)  
定員：20名

◎お申込み、お問い合わせは、西城自治振興センターへ  
12月8日(火)までお願いいたします。



## 今後の行事予定

◎パソコン教室

11月27日(金)

※前号で11月20日と記載していましたが、27日の間違いでした。

訂正し、お詫び申し上げます。

12月11日(金) 13:30～

12月25日(金) 13:30～

西城自治振興区だより

# 西城まちづくり便

2020.11.20  
Vol. 101

題字：重原 ゆずさん  
白黒書道教室 中学校2年

〒729-5722 広島県庄原市西城町大佐734 TEL/FAX:0824-82-2175

Mail:saijyo.jichi@gmail.com facebook:西城自治振興区

## 西城木の駅プロジェクトによる研修

～県立広島大学での講義～ 10月19日(月)

コロナ禍により、今年度の西城自治振興区と県立広島大学の連携、交流活動は中断を余儀なくされていましたが、この度感染防止を行い、参加人数を絞ったうえで会場を県立広島大学に設定し、研修会が実現できました。

参加者は西城自治振興区から会長、副会長、事務局長、事務局員の4名と西城木の駅のメンバー上原さん、そして西城町観光協会の岡崎事務局長さんです。(これまでの交流については、県立広島大学のHP環境学科等に記載されています。)

12時30分より14時まで小林研究室で、環境学科の1年生全員へ平井事務局長が講義を行いました。(生命環境科学基礎セミナー、本年はオンラインでの授業)テーマは、～西城「木の駅プロジェクト」を中心とした県立広島大学との協働事業～で、庄原市(西城町)の自然や文化、歴史等について講義を行いました。

14時からは、キャンパス内の実験棟で青柳研究室、小林研究室に所属する環境学科の3・4年生と、大学院生に対して、学生たちが学んでいる環境問題について研修を行いました。



その後、実験棟の中庭でメンバーの指導のもと、薪割り、束木づくりなどの実習をおこないました。その様子を見て、他の研究室の先生方や学生さんも順次参加され、充実した研修ができました。



庄原市交通交流施設・備後庄原駅前ロータリー供用開始  
記念行事及び庄原駅前フェスタに参加(販売・PR)

11月1日(日)



## 自治会長さんにインタビュー (栗自治会長 萬原 義昭さん)

今回は、栗自治会長さんにインタビューさせていただきました。



1. 特色ある活動は。  
毎年、桜並木の通学路の草刈り、グランドゴルフ、敬老会を実施。それ以外に部会を設けて、栗平子夢ひろば・老人会・大森神社水路組合・消防団などへも助成し活動を支援している。
2. 地域の困りごと、課題は。  
高齢化は西城町全体でも課題であるが、栗地域も60歳以上がほとんどで高齢化が進んでいる。また、何十年かに起こっていた水害も、近年では毎年のように発生し危機感を持ち、一人暮らしの高齢者の多い地域としては、避難誘導に苦慮している。地域拠点でもある「ふれあいセンター」が避難場所として使用できない現状を考えれば避難誘導に困難を感じ、高齢者の生命を守ることが本来の自治会の役割としては過度な負担になりはしないかと危惧している。
3. 地域の自慢など。  
栗は住んで良かったと思える地域である。
4. 今からやりたいことは。  
地域全体(住民同士の繋がり)がさらに身近に感じられるよう、今までの住民交流の催しに日頃から地域課題を考え、問題意識を共有できる場として広がりを持たせたいと考えている。
5. 自治振興センターへの要望など。  
予算支援だけでなく、地域の実情を行政に働きかける大きな力になってほしい。

＊お忙しいところ、貴重なご意見、ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

## 西城紫水高等学校 体育祭 10月24日(土)

### 雲外蒼天 ～我々の青春ここにあり～

秋空のもと、本年も体育祭が実施されました。時間は午前中のみ、12種目と例年より絞り込まれましたが、工夫を凝らした種目や、高校生ならではの楽しい演出など、熱気のある体育祭となりました。

その様子をお届けいたします。生徒も先生(黄色のTシャツ)も一緒になって…ヒバゴンも!



## 庄原市高齢者防災研修会 10月21日(水)

庄原市役所生活福祉部高齢者福祉課の事業の一環として、庄原市老人クラブ連合会が委託を受け、市内高齢者を対象に災害時において、適切な避難行動を取るために、高齢者自身が防災に関する理解を深め、日頃から必要な準備を行っておくことを目的として研修会を開催されています。

今回、西城地区の研修会に70名の参加があり、庄原市役所総務部危機管理課の担当者より、防災に備える説明を受けました。



## 町の元気！ イチオシ

## 今年、結成40年の「西城町神楽愛好会」

代表者の板倉 孝さんや若い仲間、ベテランの方たちにお話しを伺いました。

町内の、頑張ってキラキラ輝いておられる人や、めずらしい、面白いものに目を向け、町の皆さんに紹介しています。

### 西城町神楽愛好会結成のきっかけ

比婆荒神神楽が、国の重要無形民俗文化財に指定されたことを機に、西城町でも伝統芸能を習得傳承しようと、昭和55年4月25日「西城比婆荒神楽同好会」が結成されました。その後「西城町神楽愛好会」に名称を変更して、今年40年目を迎えました。

### 足跡

40年の間には、県内にとどまらず県外、海外にまで活動を広げていきました。海外は、アメリカ2回・中国1回、国内では、東京・京都・熊本・高知・鳥取など多くの場でも出演して参りました。毎年、庄原市内外の行事に20～30回の出演依頼があり、芸能傳承はもとより、地域のコミュニティー、活力、融和に貢献していると自負しております。

神楽の魅力は、太鼓と笛、舞などの一体化した迫力は言うまでもありません。その上、衣装もきらびやかで更に魅力が増します。

猿田彦の舞など、手と足、顔の使い方の一体化が難しく練習にはとても苦労しますが、その分、達成感を覚え練習に力が入ります。そして、観客からの温かい拍手に、舞うものが感動して今も続けることができている。

### これからは？

現在の会員は、18歳から88歳まで13名(内女性2名)です。「継続は力なり」をモットーにこれからも切磋琢磨を続けていきます。

また、皆さんがネットで見られるように観光協会からの動画配信も予定しております。



＊若い後継者とベテランが一体化となって、更なる活躍、発展を大いに期待できる、力強く魅力ある団体だということを強く思いました。

## 幼年クラブ防火パレード 10月28日(水)

秋の火災予防運動として、幼年クラブ(西城保育所)16名が「火の用心」と呼びかけと拍子木を鳴らしながら町中をパレードしました。

